

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年4月6日(2023.4.6)

【公開番号】特開2021-108739(P2021-108739A)

【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-034

【出願番号】特願2020-201(P2020-201)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月29日(2023.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行う遊技機において、

ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、指定した格納領域に任意のデータを転送する第1転送命令と、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第2転送命令と、を含み、

前記第2転送命令は、前記第1転送命令よりもプログラム容量が小さく、

前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラムが開始される前に0が格納され、

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合に、前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを0とする命令を実行することなく、前記特定格納領域を指定して前記第2転送命令を実行することで前記特定格納領域に格納されているデータを0とし、

前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、前記特定レジスタに格納されているデータを前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうちの前記出力ポートから出力されるデータを0とした後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを0とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

40

50

請求項 1 の遊技機は、

遊技を行う遊技機において、

ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、指定した格納領域に任意のデータを転送する第1転送命令と、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第2転送命令と、を含み、

前記第2転送命令は、前記第1転送命令よりもプログラム容量が小さく、

前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラムが開始される前に0が格納され、

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合に、前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを0とする命令を実行することなく、前記特定格納領域を指定して前記第2転送命令を実行することで前記特定格納領域に格納されているデータを0とし、

前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、前記特定レジスタに格納されているデータを前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち一の前記出力ポートから出力されるデータを0とした後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを0とする、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合には、指定した格納領域に任意のデータを転送する第1転送命令ではなく、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第2転送命令を用いるので、プログラムの記憶容量を少なくできる。また、マイクロコンピュータが起動してユーザープログラムが開始される前に、特定レジスタに0が格納されることから、ユーザープログラムの開始後、特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、特定レジスタに格納されているデータを0とする命令を実行することなく、特定格納領域を指定して第2転送命令を実行することで、ユーザープログラムの開始に伴い特定格納領域を初期化する際の命令数を減らすことができる。

10

20

30

40

50